

第5分科会

広報・オンツーロサンゼルス

カウンセラー	パストガバナー・地区研修委員	関 口	隆
リーダー	広報・オンツーロサンゼルス委員長	高 橋	嘉一郎
サブリーダー	ロータリーの友委員	佐 藤	修

報 告

第4分区Bガバナー補佐 野 間 政 弘



高橋委員長のリードの下、48名の参加者で行なわれました。

まず、広報についての基調講演が関口カウンセラー、佐藤サブリーダーのお二方によって行なわれました。

関口カウンセラーから広報とは「良心の命ずるところに従って活動した内容を伝えていく事である。」そして陰徳のお話。明治維新以降、日本という国が、日清戦争、日露戦争、それ以降の条約において、大変な辛酸労苦を経てきたお話を格調高く拝聴する事ができました。

佐藤サブリーダーからは、ロータリーというものをいかに一般の方々に知って頂くか？広報の委員長はクラブを代表するスポークスマンであり、他の種々の団体、地域等に呼びかけて、輪を広げていく役割を担っており、常にメディアとも連携を取りながらロータリークラブ内外へ情報を発信していく事が大切というお話を頂きました。そして、広報を会員増強へと結びつけて結果を残されているお話には、大変興味を惹かれました。

その後、参加者の中から6名の方に各クラブでの広報活動の実態を発表していただきましたが、各々、ホームページ作成、インターネット環境整備、また、地域メディアへの自クラブ活動の紹介等、とても地道に素晴らしい活動をされている事が発表されました。

最後にもう一つの柱である、オンツーロサンゼルス（07-08）の予定概略の発表を高橋委員長と企画旅行社より報告があり、これも広報を通して周知、PRしていき、参加者100名を目標に盛り上げていこうという事で会を結びました。

以上

報 告

第5分区ガバナー補佐 新井 尚文



分科会に於ける米山奨学委員会は概略以下の通りです。

冒頭、野辺委員長が挨拶の中で、米山は吾が国で民間最大の奨学団体であります、横山年度においては各クラブの例会で、多くの奨学生による経験談等を卓話に取り入れられるよう取り計らって行きたいとの方針が示され、続いて3人の奨学生経験者等による意見発表となりました。

3人とも女性で、はじめはこの4月から奨学生となった台湾出身の徐雅亭さん。群馬大学の4年生で中之条RCが世話クラブとなりますが、目下卒業論文に没頭しているとのことでした。次は、中国内モンゴル出身の倪鏡さん。高崎経済大学大学院後期博士課程を間もなく卒え、東京での就職も決まっているとのこと、2002年～2003年の奨学生で沼田中央RCが世話クラブでした。おしまいは、中国出身で今は日本名の大路潔江さん。米山学友会会長をつとめて後輩奨学生たちの面倒をみているようですが、1997年の奨学生で高崎東RCが世話クラブでした。ともかく彼女たち3人が異口同音に云うことは、日本の社会状況や地域を知り馴染んで生きていく上で、世話クラブのロータリアンの人達に接して教えてもらったり話し合ったことが、どんなに役立ったか計り知れない、今でも世話クラブを訪問することが日本を広く知る上で、とても勉強になると云っていたことです。特に倪鏡さんは、大学院での専攻が農業政策だったので奨学生の期間を過ぎた後もイベントに招かれ、「沼田の人達に接して話を聴くことが出来たことが、どんなに役立ったか知れない」と述懐していたことが印象に残ります。

次に、カウンセラーとして碓氷安中R Cの静朋人さんが、津久井年度に中国は大連出身の高崎経済大学に通う奨学生の世話をした体験を話されました。はじめは中国と云うことで反日を心配したそうですが、そのような気配は微塵もなかったそうです。ただその学生は車も無く、奨学生になるまで大学での勉強以外は近くのパチンコ屋でのアルバイトに明け暮れる毎日だったそうですが、米山奨学生になってからは生活の不安に脅かされることもなくなり、アルバイトは止めてひたすら勉強に専念して、東京の会社に就職したそうです。静さんはこの体験から、ともするとロータリアンよりも高級車に乗る奨学生が居るような風聞を耳にするが、米山はこのように貧しくて生活の不安に脅かされながらも日本での勉強に真剣に励もうとしている若者たちへ支給してこそ意義があるので、そのような方法がもっと取り入れられることを期待すると述べました。

また、野辺委員長からの「米山奨学事業豆辞典」を基に作成したパワー・ポイントによる説明がありましたが、奨学資金は申す迄もなくロータリアン一人一人の寄付によって成立っているの、「普通寄付」の1人当たり1万5千円は是非お願いしたいとのことでした。

詳しくは、お手元の「米山奨学事業豆辞典」をお読み下さい。

第7分科会

職業奉仕委員会

リーダー (講師)RID2680パストガバナー 田 中 毅
カウンセラー パストガバナー・地区研修委員 曾 我 隆 一

報 告

第6分区ガバナー補佐 須 永 勝



午前には講演して頂いた田中 毅リーダーのもと、ロータリークラブの生い立ちからの歴史や通説の間違い探しを、クイズ形式でおもしろおかしくお話をして頂きました。

主な例として

1. 1905年にポールハリスがロータリーを創立したというのは間違いで、第1回全米ロータリークラブ連合会年次大会議事録によれば、1904年となっている。初期ロータリーにはほとんど記録が残っておらず、諸説ある中で、RI理事会は1905年2月23日をロータリー創立日と定めたというのが正解。
また、ポールハリスは恵まれた裕福な家庭で育ったというのも間違いで、その少年期・青年期は非常に不遇であった。
2. ロータリーの会合は点鐘に始まり、点鐘で終わるというのも単なる習慣で日本だけであり、例会時間は1時間という時間の決まりも無い。始まりだけ決めておけば良い。
欧米のクラブでは3～4時間から、半日時間を使うクラブも多い。
3. 事務局・事務局員を置いているのは、日本・台湾・韓国ぐらいであり、他の国ではメンバーが200人以上いるクラブだけである。

その他

田中先生のRIでのロータリー活動でのエピソード等をお話し頂き、楽しく有意義な時間を過ごしました。

各 表 彰

(曾我年度ロータリー財団の各種表彰)

授与者・・・曾 我 隆 一 直前ガバナー

① 1人当たり寄付額の上位クラブ

1. 前橋RC 183.48ドル
2. 沼田RC 165.31ドル
3. 桐生南RC 156.26ドル

② 100%「財団の友」会員クラブ・・・全会員が財団の友で、且つ1人当たり100ドルを達成したクラブ

藤岡南RC

③ 「毎年あなたも100ドルを」クラブ・・・全会員が100ドル以上寄付したクラブ

1. 藤岡南RC 134.62ドル/人
2. 桐生RC 139.99ドル/人
3. 桐生赤城RC 129.27ドル/人
4. 沼田中央RC 124.36ドル/人



「講 評」

地区研修リーダー 高木 貞一郎

今日一日長時間に亘り地区協議会に参加を頂きましたが、皆さんがクラブのリーダーを務め、来るべき年度の準備は整いましたでしょうか？

航空機で言いますと、テイクオフにむけて離陸地点にタキシングをしているところです。

後1月半、いよいよ皆さんの年度となります

ロータリーも2世紀に入り、色々な意味で一つのターニングポイントを迎えています。

会員数の伸び悩み、それに伴う組織上でのクラブ活動慢性化、会員の価値観の変化による活動参加意欲の低下など種々の問題に直面しています。

RIも05年06年と「RIの7目標戦略プラン」を出し、07年には6つの優先事項をその延長線上で提示しております。

その中で出て参りました「CLP-クラブ・リーダーシップ・プラン」は、地区の管理運営の合理化を目的とした「DLP-ディストリクト・リーダーシップ・プラン」が96年に推奨実施されたものと両輪的に、クラブの管理運営の合理化を目的として推奨されました。

クラブの長期目標を建ててクラブの運営方法を策定し指導の一貫性、計画の継続性をはかる、加えてクラブの組織をスリム化して、会員全員活動参加を図りクラブメンバーを結束させる、又クラブメンバーの縦断的な研修を実施してロータリアン意識の高揚を図る というものであります。

世の中のニーズは、短期的な奉仕プログラムのみでなくロータリーのワンイヤールールを超えた長期的な奉仕プログラムを必要とするものになり、それに対応したクラブ組織も全員が活動に参加し得るものにして、観客席で見ているだけのメンバーを全員プレーに参加させるといったクラブの組織、運営管理の合理化プランです。

地区では、23クラブが採用しており、横山ガバナーエレクトもクラブに適応すると判断したクラブは積極的に採用を推奨されております。

最後に、次年度お願いしたいこと、それは「例会」を「出て来たくくなるような魅力ある例会」にして頂きたい 例会こそロータリーそのものであります。

魅力ある会員相互交流の時間、魅力ある食事、魅力ある卓話、この魅力ある例会の延長線上に魅力ある奉仕活動が展開できます。

会員も自ずから充実するクラブが構築できましょう。

きたる07～08年度が皆様のクラブにとって、実りある年度になりますよう、本日参会の皆様方の素晴らしいリーダーシップに期待をこめて、本地区協議会の講評ならぬ所感と致します。

大変にお疲れ様でした、この後は懇親の場で御座います、地区内の次年度クラブリーダーのロータリアンと交流し、寛いでアフターアワーのひとときを楽しんでください。

○ 地区大会実行委員長挨拶・・・割田一敏君（沼田RC）



大会日・・・平成19年10月14日（日）

場 所・・・利根沼田文化会館（沼田市）

○ 次期地区協議会ホストクラブ挨拶・・・加納紀一郎君（富岡中央RC）

大会日・・・平成20年5月10日（土）

場 所・・・生涯学習センター（富岡市）

○ 閉会挨拶・・・地区協議会実行委員長 浅川忠良君（沼田中央RC）

懇親会



◀ ご挨拶
ガバナー 津久井義孝君



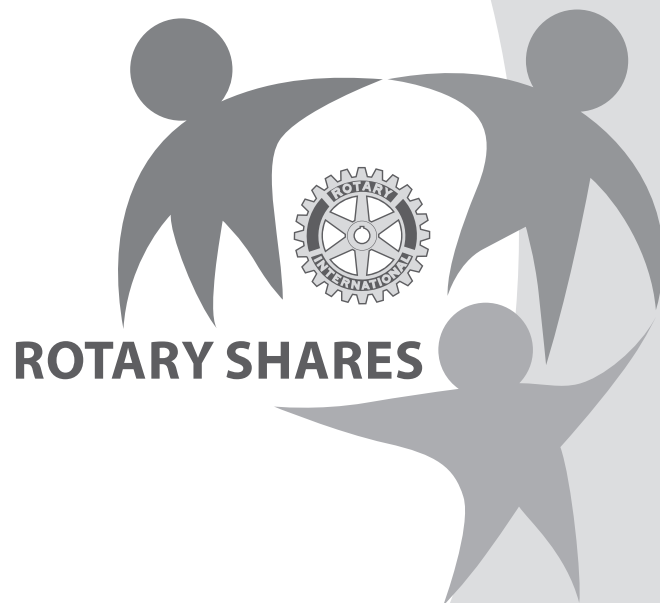
乾杯 ▶
ガバナーエレクト 横山公一君



◀ ホストクラブ会長
生方 彰君



▶ 「手に手つないで」合唱



ROTARY SHARES

2007~2008 年度 地区協議会

出席者一覽表



出席地区役員名簿

役職名	氏名	所属クラブ
パストガバナー 国際ロータリー理事 ガバナー諮問委員	重田 政信	高 崎 北
パストガバナー 地区研修リーダー ロータリー財団 補助金・奨学金等委員長	高木貞一郎	館 林
パストガバナー ガバナー諮問委員 地区研修委員	関口 隆	前 橋 西
パストガバナー ガバナー諮問委員 地区研修委員	清 章司	藤 岡
パストガバナー ガバナー諮問委員	矢野 享	桐 生 西
パストガバナー ガバナー諮問委員 地区研修委員 R財団・危機管理委員長	森田 均	茨 川
パストガバナー ガバナー諮問委員 会員組織強化カウンセラー	山崎 學	高 崎 南
直前ガバナー ガバナー諮問委員 地区研修委員	曾我 隆一	前 橋
ガバナー	津久井義孝	太 田
ガバナーエレクト	横山 公一	沼 田
ガバナーノミニー	松倉 紘洋	富 岡
第1分区ガバナー補佐	井上芙美子	前 橋 中央
第2分区Aガバナー補佐	笠原 康利	桐 生 中央
第2分区Bガバナー補佐	菊池 榮作	伊 勢 崎
第3分区ガバナー補佐	安藤震太郎	高 崎 北
第4分区Aガバナー補佐	中村 康夫	太 田 西
第4分区Bガバナー補佐	野間 政弘	大 泉
第5分区ガバナー補佐	新井 尚文	中 之 条
第6分区ガバナー補佐	須永 勝	安 中
地区幹事	長谷川嘉宣	太 田
地区幹事	保坂 充勇	沼 田
地区幹事	坂内 光政	前 橋
次年度地区幹事	村上 明男	富 岡
地区会計長	岡田 孝夫	太 田

役職名	氏名	所属クラブ
地区財務委員	林 良昭	沼 田
次年度地区財務委員	横山 昇一	富 岡
地区会計監査人	横山太喜夫	前 橋 中央
ロータリーの友委員	佐藤 修	高 崎 南
広報・オンツローサンゼルス委員長	高橋嘉一郎	太 田 中央
管理・運営委員長	本田 博己	前 橋
IT委員長	石原 保幸	前 橋 東
青少年交換委員長	小暮 高史	館 林
世界社会奉仕・友情交換委員長	大島 雅彰	富 岡 中央
インターアクト委員長	大本 計馬	前 橋 東
ローターアクト委員長	中島 博	前 橋 南
ライラ委員長	蓮 直孝	桐 生
研究グループ交換 学友会・ポリオプラス委員長	内山 均	前 橋 東
米山奨学委員長	野辺 昌弘	館 林
地区副幹事	関 延夫	沼 田
地区副幹事	金子 吉志	沼 田
地区副幹事	今井 幸吉	沼 田
地区副幹事	関 真一	沼 田
地区副幹事	永井 彰一	沼 田
地区副幹事	津久井 功	沼 田
地区副幹事	斎藤 正典	沼 田
地区副幹事	武田 寛	沼 田